

#### 第4回にしとうきょう環境アワード表彰者一覧

No.	受賞者	団体の区分	表彰の範囲	活動の概要	表彰の種類
1	Comodo Coffee Roasters (自薦)	事業者	(3) 廃棄物の減量化・リサイクルの推進	新しい生豆をテスト焙煎した後の廃棄豆を、消臭袋として有効活用するサービスを令和7年3月から実施している。また、1ヶ月ほどで消臭効果がなくなってしまう為、初めに1度だけ消臭袋を購入すれば、中身のコーヒー豆は永久無料交換ができる。廃棄豆のおよそ半分がこれに貢献している。	企画賞
2	西東京市シルバー人材センター (自薦)	公益社団法人	(1) 省エネルギー・再生可能エネルギーの導入・普及 (3) 廃棄物の減量化・リサイクルの推進	①和服をリフォームした婦人服の仕立て、洋服の寸法直し等を実施している。また、使わなくなった着物や帯等を活用し、バッグや小物類、布草履を製作している。 ②使用済みのペットボトルキャップの回収を会員に呼びかけ、リサイクル活動を行っている。令和7年度はキャップ回収に協力した会員に独自のポイント制度を導入した。 ③会員に対し、熱中症予防対策空調付き作業着等購入助成金交付を交付した。	奨励賞
3	ふらわーネット (中部地域協力ネットワーク) (他薦)	市民団体	(2) 緑の保全及び緑化の推進	地域を繋ぐ活動の一環として「地域を花で彩る」をテーマに掲げ、花の種の配布、公園、学校での花壇整備等の活動を実施している。令和5年11月に田無駅北口の平和のリング下の駅前広場にフラワーボッドが寄付されたことをきっかけに、花いっぱい運動により、花壇管理を行っている。また、花壇管理の中で美化活動も実施している。	奨励賞
4	宮崎 啓子 (他薦)	個人	(5) その他地球温暖化対策等の推進に関する取組	環境保全及び循環型社会の形成に繋がる市の環境学習事業をサポートするエコプラザ西東京協力を10年以上務めている。近年では、「リユース祭り (持ち込まれた品の検品、受取、整理、譲渡時の参加者対応)」、「楽しく工作! エコあそび (牛乳パック、空き箱などを有効活用したイベントでの説明)」等の運営に協力した。	奨励賞
5	山口 ヒロ子 (他薦)	個人			
6	山根 峰代 (他薦)	個人			
7	片山 州子 (他薦)	個人			
8	戸口 君子 (他薦)	個人			
9	つながる夢花だん (自薦)	市民団体	(2) 緑の保全及び緑化の推進	花が好きの人が集まり、花を植える「花いっぱい運動」を基に令和5年度に立ち上げをした。田無庁舎スロープ、公民館にて、花植え、維持管理を実施している。令和7年から保谷庁舎の花壇にも活動を広げ、市民の仲間に加え就労準備支援の方たちも一緒に参加している。	企画賞
10	ファーム柳沢 (自薦)	事業者	(1) 省エネルギー・再生可能エネルギーの導入・普及 (2) 緑の保全及び緑化の推進 (3) 廃棄物の減量化・リサイクルの推進 (5) その他地球温暖化対策等の推進に関する取組	IT技術で環境制御された温室でトマトを栽培し、自宅直売所、アンテナショップ、マルシェ等で販売をし、一部市内小中学校の学校給食にも出荷している。毎年小中学校の地域学習にも参加しており、栽培ごみは、堆肥用として出しており、ごみの削減も行っている。農林水産省が実施している環境に配慮して生産された農作物を「見える化」した「みえるらべる」で☆2を取得し、温室効果ガス削減に貢献したことが認証された。	企画賞

No.	受賞者	団体の区分	表彰の範囲	活動の概要	表彰の種類
11	保谷第二小学校花サークル 絆 (自薦)	市民団体	(2) 緑の保全及び緑化の推進	やぎさわ地域を花いっぱいにする「やぎさわ花エリア構想」に基づき活動をしている。花壇への植栽は、春と秋の年2回実施しており、保谷第二小学校、ひょうたん島公園、柳沢中学校、やぎさわ保育園の植栽には、児童、生徒、保護者、地域住民等、延べ100人以上が参加している。	奨励賞
12	toitoitoy (他薦)	市民団体	(5) その他地球温暖化対策等の推進に関する取組	木製おもちゃの製造過程で出る端材を通じ、消費生活・環境・遊び等を楽しみながら学ぶ機会を提供している。端材を使ったワークショップとして、自主開催、依頼開催で講座を行うほか、西東京市や東久留米市を中心に、地域のイベントにて端材を使ったつみきチャレンジ等の体験で出店を行っている。	企画賞
13	岡庭建設株式会社 (自薦)	事業者	(1) 省エネルギー・再生可能エネルギーの導入・普及 (5) その他地球温暖化対策等の推進に関する取組	市内の分譲住宅プロジェクトにおいて、省エネ、創エネ、地域環境との調和を一体的とした住宅の提案を行った。高断熱・高气密仕様で快適に過ごせる住環境を実現し、エネルギー消費の削減とCO2排出の抑制に貢献している。また、天然素材の壁紙や無垢材の床材等、環境に配慮した自然素材を採用し、持続可能で環境に優しい住まいづくりを地域とともに進めることを目指す。	奨励賞
14	武田 敏哉 (他薦)	個人	(2) 緑の保全及び緑化の推進	保谷柳沢児童館のテラスにアサガオのトンネルを設置した。屋根の竹は地域からの寄付、支柱の木材は児童館で余っている木材を使用した。直射日光が当たるテラスにトンネルのグリーンカーテンを設置することで日除けになると同時に子どもたちの植物成長の学習に繋がった。	奨励賞
15	西東京 菜の花エコ・プロジェクト(自薦)	市民団体	(2) 緑の保全及び緑化の推進	農に親しむことにより環境と人の共生を学び、みどり豊かなまちと地域コミュニティーをすることを目的に、市内に「農あるまちづくり・市民と農家の協働による共同栽培体験型農園事業」を実施し、農業・食料問題についての学習、地域コミュニティーとの連携を進めている。	奨励賞
16	田無小学校 わかば学級 (自薦)	小学校	(3) 廃棄物の減量化・リサイクルの推進	SDGsの「つくる責任 つかう責任」の学習を通して、3R(リデュース・リユース・リサイクル)について知り、ペットボトルリサイクル活動をスタートした。この協力を全校児童に継続的に呼び掛け、集めたペットボトルは、コンビニエンスストアのペットボトル回収事業に参加する形で、リサイクルを行った。	奨励賞
17	保谷第二小学校 (自薦)	小学校	(2) 緑の保全及び緑化の推進	保二小「花プロジェクト」として、マリーゴールドプロジェクト、パンジープロジェクト、チューリッププロジェクトを行った。花の植栽活動を通して、児童に豊かな情操、勤労・公共・自然愛護の精神、ボランティアマインド、持続可能な環境づくりへの理解、美化意識を育てていく。	奨励賞
18	谷戸小学校 (自薦)	小学校	(4) 環境の保全及び向上に関する取組	学校中庭の池には、イトトンボや東京ダルマガエル、アサザなどの希少な動植物が生息していることから、池の金魚(外来種)を捕獲して教室等で飼育するようにし、中庭の池での生息数を減らし、希少な生き物が生息しやすくなるように池の環境浄化を進め、生命を大切にしつつ、環境を守る心を育む教育を推進している。	企画賞

No.	受賞者	団体の区分	表彰の範囲	活動の概要	表彰の種類
19	東伏見小学校 3年生 (自薦)	小学校	(5) その他地球温暖化対策等の推進に関する取組	単元名「石神井川プロジェクト」として、総合的な学習の時間を使って、近くを流れる石神井川の周辺を、令和6年度から3年生が清掃活動をしている。また、石神井川について、その生態系や歴史、人々が受ける恩恵についても学習し、愛着をもって活動を行っている。	奨励賞
20	栄小6年ストロープロジェクト有志 (他薦)	小学校	(3) 廃棄物の減量化・リサイクルの推進	児童たちが「給食でのストローレス」を目標に掲げ、牛乳を飲む際にストローを使わず、直接パックから飲み、その結果生まれた“使わなかったストロー”を回収する活動へと発展させた。現在は、集めた“使わなかったストロー”を「見える化」して展示する計画が進んでいる。	企画賞
21	東小学校 あすなるA学級 (自薦)	小学校	(3) 廃棄物の減量化・リサイクルの推進	給食で食べた冷凍ミカンの皮や、学級の畑で栽培した枝豆の皮と牛乳パックを混ぜ、サスティナブルペーパーのはがきを作成した。総合的な学習の時間の授業で実践を行い、また、SDGsと関連付けながら、学習を進めた。紙について知り、様々な材料を使って紙すきの体験を繰り返す中で、廃材や食品廃材の使い道を模索した。	奨励賞
22	柳沢小学校 (自薦)	小学校	(2) 緑の保全及び緑化の推進	環境委員会児童が、校内花壇の土づくり、種まきや苗植え、花の水やりや、育てた藍を使ったたたき染め体験等、地域と連携し取り組んでいる。植物を通して心が豊かになるように、学校にある自然を大切に、緑あふれる学校にしていく活動をしている。	奨励賞
23	住吉小学校 (自薦)	小学校	(2) 緑の保全及び緑化の推進	春夏はマリーゴールド、秋冬はチューリップとパンジーを全校児童が種から栽培する「花プロジェクト」を、令和7年度から実施している。育てた花を、児童が「花大使」となって地域の事業所に花を贈る「花外交」を展開し、「すみよし花エリア構想」を立ち上げた。その活動により、地域社会における花のネットワークの足掛かりとした。	奨励賞
24	田無第一中学校IJ学級 (自薦)	中学校	(3) 廃棄物の減量化・リサイクルの推進 (5) その他地球温暖化対策等の推進に関する取組	学校の伐採木(サクラの木)を使って燻製作りを行う。燻製器には、コピー用紙の空き箱を使うなど、身近な物が再利用できることを学ぶ。燻製器として使用した後は、資源ゴミとして再利用させた。また、燻製作りを通して、食文化について興味を持たせた。	奨励賞
25	保谷中学校 家庭科部・ボランティア部 (自薦)	中学校	(2) 緑の保全及び緑化の推進	家庭科部とボランティア部が、少しでもCO2削減と環境の改善に貢献できるように、年間を通してプランターや植木鉢いっぱい花を植える活動をしている。平日は毎日、朝・昼・夕に家庭科部とボランティア部が水やりを行い、休日や夏季休業中は部活動生徒、教職員、警備員等、学校一丸となって、花の水やり協力し、緑化活動に取り組んだ。	奨励賞
26	柳沢中学校 花いっぱい花壇プロジェクト (自薦)	中学校	(2) 緑の保全及び緑化の推進	令和4年度に「開校50周年記念西門を正門にするプロジェクト」を立ち上げ、地域協力者、ボランティア生徒により活動を開始した。以降、「花いっぱい花壇プロジェクト」として、ボランティア推進委員会の一環として活動している。	奨励賞